

令和6年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立スポーツセンター	所在地	千代田区内神田2-1-8
-----	---------------	-----	--------------

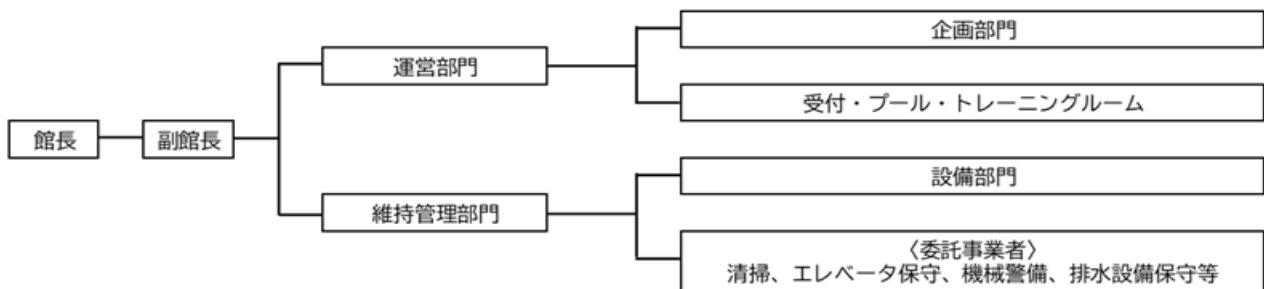
1 指定管理者の概要

名 称	ちよだすぽすたみらい		
代表団体	美津濃株式会社	代 表 者	代表取締役 水野 明人
所在地	大阪市中央区北浜四丁目1番23号		
構成団体1	ミズノスポーツサービス株式会社	代 表 者	代表取締役 薬師寺 洋彰
所在地	大阪市中央区北浜四丁目1番23号		
構成団体2	株式会社小学館集英社プロダクション	代 表 者	代表取締役社長 都築 伸一郎
所在地	千代田区神田神保町二丁目30番地		
構成団体3	大星ビル管理株式会社	代 表 者	代表取締役 寺島 剛紀
所在地	文京区小石川四丁目22番2号		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区民（区に住み、働き、学ぶすべての人を言う。以下同じ）の生涯スポーツ及び生涯学習の振興を図ることを目的とし、生涯スポーツ及び生涯学習活動を実践できる場の提供及び支援に関する事業を行う。
管 理 業 務 の 内 容	(1)センターの施設の利用承認に関すること。 (2)生涯スポーツ関係団体及び生涯学習関係団体の育成及び連携に関すること。 (3)生涯スポーツの指導及び助言に関すること。 (4)生涯スポーツの適正並びに健康及び体力維持、増進に係る相談に関すること。 (5)生涯スポーツ活動及び生涯学習活動の普及及び推進に関すること。 (6)施設の保守及び維持管理に関すること。 (7)その他センターの事業及び管理運営に関し必要な業務。

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用実績

(1) スポーツ施設（利用人数）

施設 年度	主競技場	剣道場	柔道場	卓球場	弓道場	相撲場	トレーニング グループ	プール	ゴルフ レンジ	多目的室	集会室	見学者	合 計
令和6年 (343)	70,842	14,337	14,731	19,948	16,270	919	59,296	43,688	4,007	5,722	11,740	396	261,896
令和5年 (343)	69,673	15,713	15,946	17,719	16,031	1,101	55,693	40,674	4,257	5,820	11,571	365	254,563
令和4年 (343)	56,214	15,005	13,827	17,431	15,513	896	46,647	34,530	4,494	5,464	10,373	366	220,760

※（ ）内数字は、開館日数

(2) 生涯学習施設（利用件数）

年度	総数	区民・一般団体利用件数	事業利用団体
令和6	3,131	3,102	29
令和5	3,047	3,013	34
令和4	2,951	2,867	84

イ 主催事業

週間プログラム：

リズムエクササイズⅠ＆Ⅱ、かんたんストレッチ、かんたんピラティス、ボディシェイプアップ、ヘルシー体操、はつらつ体操、リフレッシュ体操、水中エクササイズ

スポーツ教室：

エアロビクス教室、リズムシェイプアップ&チビッコ体操教室、預かり保育、はじめてのバレエエクササイズ、キッズダンス（幼児クラス、小学生クラス）、ちよだキッズスポーツ塾、やさしいヨガ、運動会必勝塾（かけっこ教室、走り方教室）、バレトン、はじめてピラティス、たのしくフラダンス、たのしくジャズダンス、苦手克服体操教室（幼児クラス、小学生クラス）、介護予防教室ララフィット

プールプログラム：

アクアビクス教室、成人水泳教室、親子水泳教室、お水でエクササイズ

卓球プログラム：

卓球教室（入門・初心者クラス&中級クラス）

スタジオプログラム：

ビューティ体操、ヨガブレイク、ストレッチヨガⅠ＆Ⅱ、ダンスエクササイズ、整うストレッチ、ズンバSP、エアロビクス、スッキリストretch、ヨガフィット、コンディショニングヨガ、バレトンSP、バレトン&ズンバ、ほぐしヨガ、キックボクシングエクササイズ、モーニングピラティス、ステップエクササイズ、リフレッシュヨガ、ベリーダンスエクササイズⅠ、ナイトヨガ、姿勢改善ピラティス、マイセルフボディケア、ソフトモーニングヨガ、モーニングヨガ、バレエエクササイズ、祝日特別プログラム（20プログラム）

プールプログラム：

4泳法（基礎・中級・上級）、アクアシェイプ、きれいに泳ごう（背泳ぎ・平泳ぎ・クロール・バタフライ）、フィンスイム、アクアウォーキング、水中ウォーキング&スイム、アクアウォーキング、スイムトレーニング、フィンスイムトレーニング、祝日特別プログラム（1プログラム）

スタディプログラム：

マイケル先生と楽しい英会話（初級&中級&上級）、楽しい中国語会話入門、カラダリセット、カラダのトリセツ、かんたん本格スイーツクッキング、ハッピーハンドメイド、Let's study 「金継ぎ」、マイケル先生と楽しいスプリングパーティー、健康な体づくり講座、米粉100%で作るふわふわレシピ、Let's study 「書道」、Let's study 「こぎん刺し」、おうちでアジアごはん

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	151,250,717円	人件費	132,312,001円
利用料収入	61,699,617円	光熱水費	43,161,548円
事業収入	55,294,160円	事業費	25,743,269円
その他の収入	9,345,835円	その他の支出	79,748,155円
合計（①）	277,590,329円	合計（②）	280,964,973円
収支差額（①－②）	-3,374,644円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
スポーツセンターは地域に根ざした健康づくりや交流の場として、長年にわたり多くの区民の方々に親しまれています。令和6年度は、指定管理者として第4期の3年目を迎えました。新型コロナウイルス感染症も終息に向かい、利用者の生活はコロナ前の日常を取り戻し、個人の自主的な生活へと完全に移行しました。一方で、継続的な課題として、区民利用は回復傾向にあるものの、在勤者や在勤団体の活動は、テレワークなどの働き方改革の影響により、コロナ前の状態には完全に戻っておらず、全体の利用率に影響を及ぼしています。 こうした中、利用率の回復に向けて、魅力ある施設運営を目指してまいりました。個人開放においては、利用者の安全はもちろん、指導員・インストラクター・スタッフの安全にも配慮し、すべての方に安心してご利用いただける運営を心がけました。 今後は、施設そのものの存在をさらに広く認知していただくことが重要な課題となっています。 また、開設から52年を迎えたスポーツセンターでは、各所に老朽化が見られるため、所轄課の指導のもと、タイムリーな修繕を実施してまいりました。気候や気温の変化に対応した空調管理も含め、利用者の皆様が快適にご利用いただける施設運営を目指しています。 その他の取り組みとして、受付時のキャッシュレス決済の導入、申込用紙の記載の統一化、月極ロッカーの導入を行いました。また、体育協会主催による五輪メダリスト3名による区内小学生向けスポーツ教室「スポーツミライチャレンジ」の開催や、麴町ジュニアスイミングの保護者会の開催など、区民およびスポーツセンター利用者に寄り添ったサービスの提供に努めました。	指定管理料を含む総収入合計は、予算比で98.8%（3,281,671円減）、前年度比では103.4%（9,078,501円増）となりました。 利用収入は前年度比120.3%（10,413,194円増）、事業収入は108.6%（4,423,195円増）、その他の収入は125.0%（1,866,905円増）となり、指定管理料を除いた運営収入の合計は、前年度比で115.2%（16,703,294円増）と大きく伸びました。しかしながら、予算比では93.1%（9,369,388円減）となり、大きくマイナスとなりました。 主な収入の内訳では、個人利用が前年度比102.5%（897,025円増）、団体利用は97.0%（933,650円減）、すばすた会費は125.1%（2,832,570円増）となり、回復傾向が見られます。 ただし、テレワークなど働き方の変化が、在勤者および在勤団体によるスポーツセンターの利用に引き続き影響を与えている状況です。 支出総額は前年比101.9%で推移し、光熱費は108.6%（3,411,674円増）、修繕費は96.8%（214,463円減）となりました。経費の効率化に努めてはおりますが、物価の高騰などの影響もあり、全体としては予算比100%を何とか維持している状況です。 今後の懸念材料としては、施設の老朽化が進んでいることが挙げられます。これにより、突発的な修繕費用の増加や、想定以上の温暖化・猛暑などによる光熱費の高騰が懸念されます。

7 区による評価・業務改善要求

施設の老朽化により機能面に課題がある中でも、利用者の要望を丁寧に集約し、状況に応じた対応策を提示するなど、適切な対応が行われている。今年度は、利用者の利便性向上を目的として月極ロッカーを導入したほか、今後の利用増加が期待されるプログラムの開催など、利用者数の増加やスポーツセンターの認知度向上に向けた積極的な取り組みが見られた。

8 今後の指定管理に区が期待すること

今後も、利用者の利便性向上はもとより、リピーターの増加が見込まれるプログラムの導入などを通じて、コロナ禍以前の利用者数に近づけるような積極的な取り組みを期待する。
--